

進化生物学から知識と文化の進化理論へ(1)

進化生物学の理論を人間の知識や文化に適用する 二つの方法

1. 人類の進化史をたどる

人間はいつごろから「文化」をもつようになったのか？

人間はいつごろから「人工物」を作るようになったのか？

人間はいつごろから「学問」するようになったのか？

それらはどのように発展（進化？）していったのか？

それらを発展させてきた原動力とメカニズムは何なのか？

2. 知識や文化を進化システムとして取り扱う

次回以降

人類の進化

3つの大きな節目：ヒト科、ヒト属、ヒト種の起源

ヒト科：500 万年前～ 猿人（アウストラロピテクス）……何種類かいた

ヒト属：250 万年前～ ハビリス人（ホモ・ハビリス）……最古のヒト属、道具使用

原人（ホモ・エレクトゥス）

旧人（ネアンデルタール人、ホモ・ネアンデルターレンシス）

ヒト種：20 万年前～ 新人（ホモ・サピエンス）

文化はいつから？

チンパンジーの道具使用における地域変異

そのほかの動物の文化的行動

文化とは？～社会的学習（social learning）による新しい行動の獲得

参考文献

フランス・ドゥ・ヴァール『サルとすし職人 文化 と動物の行動学 』原書房 [動物に文化や意識を認めたくない研究者が多いのはなぜ？「文化動物学」の入門書であると同時に、興味深い科学文化論にもなっている]

その他の文献は <http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/sakuralab/index.htm> を参照。